(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



: (1880 - 1880) | 1 | 1880) | 1880 - 1880 - 1880 - 1880 | 1880 - 1880 - 1880 - 1880 | 1880 | 1880 | 1880 | 1880

(43) 国際公開日 2005年3月17日(17.03.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/025033 A1

(51) 国際特許分類7:

H02K 7/14

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/012740

(22) 国際出願日:

2004年9月2日(02.09.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

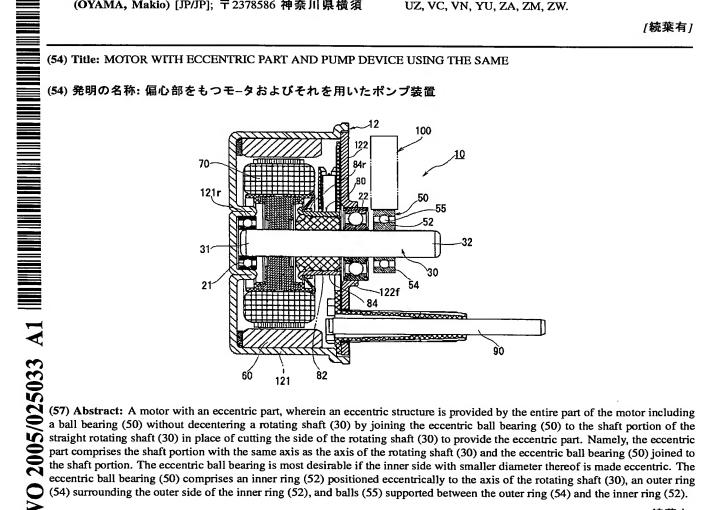
特願2003-310446 2003 年9 月2 日 (02.09.2003) TP

- (71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 株式 会社ポッシュオートモーティブシステム (BOSCH **AUTOMOTIVE SYSTEMS CORPORATION) [JP/JP]:** 〒1508360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 小山 牧朗 (OYAMA, Makio) [JP/JP]; 〒2378586 神奈川県横須

賀市浦郷町5丁目2931番地 株式会社ポッシュ オートモーティブシステム内 Kanagawa (JP). 篤 浩明 (ATSUSHI, Hiroaki) [JP/JP]; 〒2378586 神奈川県横須 賀市浦郷町5丁目2931番地株式会社ポッシュ ートモーティブシステム内 Kanagawa (JP). 斉藤 学 (SAITOH, Manabu) [JP/JP]; 〒2378586 神奈川県横須 賀市浦郷町5丁目2931番地 株式会社ボッシュ オートモーティブシステム内 Kanagawa (JP).

- (74) 代理人: 保科 敏夫 (HOSHINA, Toshio); 〒2390813 神 奈川県横須賀市鴨居 1-2 5-7 Kanagawa (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が 可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

/続葉有/



(54) surrounding the outer side of the inner ring (52), and balls (55) supported between the outer ring (54) and the inner ring (52).

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

2文字コード及び他の略語については、定期発行される 各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語 のガイダンスノート」を参照。

添付公開書類:

一 国際調査報告書

(57) 要約: この発明では、回転軸(30)自体は偏心させることなく、ボールペアリング(50)を含む全体で偏心構造をもたせる。そのため、回転軸(30)の側を削り加工することに代えて、ストレートな回転軸(30)の軸部分に偏心したボールペアリング(50)を結合し、偏心部を得る。すなわち、偏心部は、回転軸(30)の軸線と同一の軸線をもつ軸部分と、その軸部分に結合した偏心ボールペアリング(50)とからなる。偏心ボールペアリングとしては、より径の小さいインナー側が偏心した形態が最も好ましい。その偏心ボールペアリング(50)は、回転軸(30)の軸線に対して偏心した内輪(52)と、その内輪(52)の外側を取り囲む外輪(54)と、それら外輪(54)と内輪(52)との間に支持されたボール(55)とから構成される。